

令和4年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

山下 博史 議員

教育行政について

(1) 教育長の抱負について

- ・ 県政上の重大な課題の1つである人口減少問題に対して、ふるさと教育に取り組まれていると思うが、ご自身の経験を活かして、今後どのように取り組んでいこうとされているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

私は、これまで、観光行政に長く携わってきましたが、この経験は「ふるさと教育」にも生かせると思っております。

特に、コロナ禍の観光施策で、県民の皆様にも県内での家族旅行や修学旅行を通じて、本県の魅力を「再発見」いただきましたが、改めて長崎ならではの歴史や文化、自然環境や食などの素晴らしさを、教育行政の立場から、子供たちの記憶と心に留めるような仕掛けづくりを検討してまいります。

また、県全体が100年に一度と言われる大きな変革期を迎える中、私がこれまで携わってきた観光業をはじめ、各産業の人材ニーズが急速に多様化しつつあると感じており、子供たちに、各地域や産業界がどのような人材を求めているのかを知ってもらい、小中学校段階から高校卒業後の出口を意識させる教育についても必要であると考えております。

今後とも、生まれ育った地域が好きなことになり、将来の自分がそこで果たす役割に思いを馳せるような子供たちが増えていくように、市町や民間の皆様とも連携しながら、より厚みのある小中高一貫した「ふるさと教育」を展開してまいりたいと考えております。